

令和4年度 一人一人の確かな学力のために

1年

		学年の目標	1学期末の児童の様子	3学期末の児童の様子
基礎・基本	国語	<ul style="list-style-type: none"> <li>平仮名・片仮名の定着(100%)を図ります。身の回りの言葉と関連付けながら、日常生活の中で読んだり書いたりします。</li> <li>新出漢字の定着を目指します。そのため、週に1回程度、漢字小テストを実施します。見直しや間違いを直す習慣を付けます。繰り返し漢字ドリルを用いて反復練習を行い、筆順と文字の形も正しく身に付けさせます。</li> <li>主語と述語を意識して、読んだり書いたりする児童を目指します。会話の中で主語を明らかにして、話をしたり、授業中、発表の際に主語を入れて発表させたりします。</li> </ul>		
	算数	<ul style="list-style-type: none"> <li>1位数と1位数の加法・減法、簡単な2位数の加法・減法の定着(単元末テストで90点以上を8割)を目指します。そのために、家庭学習期間で既習内容の東京ベーシックドリルに繰り返し取り組みます。授業の始めに、フラッシュカードや計算ドリルを活用し、繰り返し計算練習を行います。</li> <li>時刻を読めるようにします。そのために、時刻の読み方を用いて、時刻と日常生活を関連付けるようにします。また、日常生活でも時計を活用して行動します。</li> </ul>		
	その他	<ul style="list-style-type: none"> <li>ふるさとでの伝統や文化に親しむ児童を育てます。地域の伝統文化である、「和風作り」に参加し、地域愛を育みます。</li> <li>SDGsの視点を取り入れ、調べ学習のできる児童を育てます。そのために、国語科・生活科と関連させ、調べる学習などの探求活動を行います。</li> <li>読書に親しみ、1学年の読書目標100冊を達成できる児童を目指します。そのために、マイブックとしていつも手元に本がある状態にします。学級文庫や学年の本棚を設置するなど読書環境も整えます。読み聞かせを行ったり、教科に関連する本を紹介したりして、読書に親しめるようにします。</li> </ul>		
思考力・判断力・表現力	<ul style="list-style-type: none"> <li>自ら課題を見い出し、見通しをもって解決することのできる児童を目指します。そのために、授業の始めに、めあてを明確にし、課題を解決するための教材、場、時間を確保し、発問を精選します。自分の考えを具体物、絵、図、言葉で表現できるようにします。授業の最後には、まとめや感想を書いて振り返ることで、自分の達成度を確認したり、次時の課題をもたせます。</li> <li>自分の思いや考えをもち、友達に伝えられる児童を目指します。相手の発言を受けて質問したり、確かめたり、共感を示したりするようにします。友達の考えから、自分の考えが深まるよう、お話マスクを付けて、交流を行います。</li> <li>学習過程が分かるノートを書くことができる児童を目指します。ノートの使い方を覚え、めあてからまとめまで学習過程が分かるようなノートを書けるようにします。</li> </ul>			
学習習慣	<ul style="list-style-type: none"> <li>家庭学習時間を毎日15分(15分×1年生)取り組むことを目指します。そのために漢字・音読・算数の宿題を毎日課し、宿題の提出を確認します。そして、毎日宿題の提出率100%を目指します。</li> <li>チャイム着席・次時の授業の準備の習慣化を目指します。一日の流れを掲示し見通しをもたせるとともに、できている児童をほめたり、グループで声をかけ合ったりさせることで100%の定着を図ります。</li> <li>話を聞く姿勢を身に付けます。そのために、話し方名人、聞き方名人を掲示し、相手を見て姿勢を崩さず目と耳と心で最後まで聞くこと、友達に伝えることを意識して話すことを指導します。</li> </ul>			